

平成 27 年度富良野市学校間連携会議 財政部会活動計画

◎部会メンバー 明石(富良野西中)、長岡(麓郷小・中)、北井(富良野小)、神田(山部小)、山本(樹海中)

1. 「学校事務に関する共通・重点要望書」について ○山本・神田・長岡

(1) 継続が必要な項目

- ①学校配当予算の計上経費
- ②保護者負担軽減
- ③学校教育活動交付金
- ④就学援助費の補助対象経費の拡大
- ⑤教材・図書の整備
- ⑥教育・校務・地域イントラネットの充実

(2) 内容の精査が必要な項目

- ①学校内外(教職員住宅)の施設維持管理について

(3) 年間スケジュール

- ①5月下旬から6月中旬 要望項目の検討
- ②6月下旬から7月中旬 連携会議時の原案を提示
- ③夏季休業中(8月下旬) 提示内容について、各自検討・意見集約
- ④9月上旬～下旬 最終案提示、教育委員会への要望書提出

※具体の年間の流れについては、新年度予算要求書作成スケジュールが確定後に。

2. デジタル教科書・教師用教科書の整備について ○長岡・神田

今年度(H27)の小学校の教科書改訂に伴い、昨年度(H26)のデジタル教科書・指定教材等の整備状況を把握。あわせて協議された要望内容の精査。来年度(H28)改訂される中学校でのデジタル教科書・指定教材の整備をすすめるための中学校間での協議・確認をしていく。

3. 教育予算白書運動について ○明石・北井

5月中に前年度の実態把握をする。今年度実態(中間)を9・10月に調査する。

集約後の情報提供(傾向などの提示等)をする。この後の方向性を示すための検討を行う。

また、この運動を「学校事務に関する共通・重点要望書」へ反映できる取り組みを行う。

4. 各種調査について ○北井・山本

昨年度は児童生徒用の椅子・机の集約を行った。

今年度は、事前にどのような調査が必要なのかを確認する。あわせて、教育委員会との連携を密に図りながら、情報を市内全体で共有する。

備品の管理・活用の調査、とくに管理備品と指定教材備品の区分についての取り組みを行う。

5. その他

◎学校配当予算の調整については、引き続き連携部会が担当する。ただし、調整の時期や結果などについては、本部会との打ち合わせ等を適宜行いながらすすめるのが良いと思われる。

ここからは、前回の部会での協議はなかった部分  
前ページの内容を、補強してみました。ご意見をください。

## 6. 「用語」のことなど

今年度は、ある程度、富良野市学校間連携会議の活動内容を確立する一年となっています。長年やってきたことを再構築し、学校事務の富良野スタンダードが活動として定着しつつあるように思います。

つまり、活動というように表現していますが、実際には富良野市の学校事務職員の「業務」となりつつあります。上事協から提示されています「教育環境整備」と分掌業務を繋げて仕事(学校事務)とすることは、富良野市の目指すところです。仕事の幅を広げながら整理していきましよう。

## 7. 富良野ブロック冬季研修会 名達メッセージから

㊦意図的に取り組む……………今回の財政部会の活動計画

㊧「今年は〇〇をやります」と表明……………各学校の学校事務運営計画、4・5月の職員会議提案

㊨個別課題の具体案……………ほとんどが財政部会の活動と合致するのでは。

### ① 学校財政の確立

ここは学校事務職員の得意分野です。保護者負担軽減、予算要求、総額裁量制、重点化、私費の公会計化など先進市町村から学ぶ企画、財政課から学ぶ企画、他市町村との比較、他校の実態、本校の実態など学習とデータ蓄積 これまた広報可能です。

㊩処理業務から脱却し、学校事務を発信しよう……………普遍的な個々の業務(処理業務)をきちんとしつつ、富良野市学校間連携会議の組織として、意図的に行う。